

茨城県衛生研究所における病原体検出情報 —2013/1/24—

2012年12月31日現在

1. 12月の検出状況

		水戸	ひたちなか	常陸大宮	日立	鉾田	潮来	竜ヶ崎	土浦	つくば	筑西	常総	古河	合計	
ウイルス	インフルエンザ	AH3	7	2		2	2					1	2	16	
	感染性胃腸炎等	NV(G1)			1										1
		NV(G2)	11		13	30	2	9							65
		SV							1						1
	麻疹	風疹							1						1
		HHV6						2							2
		HHV7						1							1
	急性脳炎・脳症	ARV				1									1
		エンテロウイルス属	未同定							1					1
	流行性角結膜炎	AdV												1	1
無菌性髄膜炎	ムンプスウイルス	1												1	
手足口病	エンテロウイルス属	未同定						1						1	

〈ウイルス〉

- インフルエンザから検出されたウイルス
 定点医療機関、ひたちなか保健所管内の中学校(集団)の検体からAH3が検出された
- 感染性胃腸炎等から検出されたウイルス
 感染症関連
 ノロウイルスG1:日立保健所管内の保育園(同患者からG2も検出された)
 ノロウイルスG2:水戸保健所他4保健所管内の保育園や小学校、社会福祉施設
 サポウイルス:竜ヶ崎保健所管内の認定こども園
 食中毒関連
 ノロウイルスG2:つくば保健所管内の飲食店で発生した事例から検出
- 麻疹症例から検出されたウイルス
 30代男性から風疹ウイルスが検出された
 0才児の血漿からHHV6が検出され、3才児の血漿からHHV6とHHV7が検出された
- 急性脳炎・脳症例から検出されたウイルス
 0才児の血液と咽頭ぬぐい液からエンテロウイルス属が検出され、3才児の糞便からARVが検出された
- 流行性角結膜炎症例:70代男性の結膜ぬぐい液からアデノウイルスが検出された
- 無菌性髄膜炎症例:8才児の髄液からムンプスウイルスが検出された
- 手足口病症例:3才児の咽頭ぬぐい液からエンテロウイルス属が検出された

トピックス

<HHV6の感染に注意しましょう>

- 生後11か月の乳児1名からHHV6が、3歳児1名からHHV6とHHV7の両方が検出されました。いずれも麻しん関連患者の乳幼児から遺伝子検査により検出されたものです。今年度に入ってからHHV6は12人目、HHV6とHHV7の共感染は初めての検出例で、そのほか1人からHHV7が検出されています。HHV6が検出された12名の年齢は生後7か月から3歳(中央値:11か月)で、そのうち2名が熱性けいれんを起こしていましたが、3名はけいれんに加えて意識障害なども合併していました。
- HHV6とHHV7の潜伏期、症状
HHV6はヒトヘルペスウイルス6型、HHV7はヒトヘルペスウイルス7型のことです。どちらも初感染像は突発性発疹ですが、HHV7はHHV6の後に感染・発症すると言われています。
突発性発疹は、HHV6に感染後、10日から14日ほどして突然、高熱(39~40℃)とともに発症します。3日くらい発熱が続いた後、解熱とともに発疹が現れます。発疹はわずかに盛り上がった紅い発疹で、3~4日で痕を残さずに治ります。軽度の下痢を伴うことが多いですが、経過中、患児の機嫌はおおむね良好です。ほとんどの場合、予後は良好で、特別な治療は必要としません。
しかし、高熱が続くため、10%くらいに熱性けいれんがみられると言われていますが、5分ほどでおさまり、反復することはありません。
- 合併症
HHV6とHHV7は中枢神経系に感染しやすく、まれに脳炎・脳症を引き起こします。2005年に行われた全国的な調査によると、わが国では、毎年突発性発疹罹患時に70例くらいの脳炎・脳症が発生しており、そのうち半数が重篤な後遺症を残したり、死亡例もでていたことがわかりました。生後7か月から16か月に多発しており、この時期の突発性発疹には注意が必要です。
- 感染源
HHV6は、ひとたび感染すると唾液腺細胞などに潜伏感染し、感染者は生涯にわたってウイルスを排出し続けます。したがって、乳幼児のHHV6の感染源として最も多いのは、親や家族です。ほとんどの患児は突発性発疹だけですんでいますが、脳炎・脳症を考えると、乳児期の家族内感染は防ぎましょう。
唾液から感染するため、突発性発疹には流行期はありません。患者は1年中発生しています。

2. 月別検体受付数

	臨床診断名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
ウイルス	A型肝炎					5	4							9
	つつが虫病			1		1					1			3
	デング熱						1			1	1			3
	急性脳炎・脳症						1	3		1	2	6	2	15
	麻疹	3	5	1		4	2	5	8	4	4	7	4	47
	感染性胃腸炎等	129	101	32	77	35	47	22	4	27	11	58	79	622
	手足口病								1	1			1	3
	ヘルパンギーナ													0
	インフルエンザ	95	104	31	13	1	1	1	1	3	1	1	18	270
	流行性角結膜炎		1						1		1	2	1	6
細菌	無菌性髄膜炎							3	4	1	3	1	1	13
	その他				1		9	3	4	5		3	1	26
	マイコプラズマ感染症								1					1
	百日咳											5		5

3. 月別検出件数

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	
ウイルス	A型肝炎	HAV				1								1	
	つつが虫病	Kawasaki			1										1
		Karp					1								1
	デング熱	デングウイルス									1			1	
	急性脳炎・脳症	HHV6									1	1	1		3
		HHV7										1			1
		NV(G2)											1		1
		AdV								1(6型)					1
		ARV												1	1
	エンテロウイルス属	未同定											1	1	
	麻疹	Measles		1											1
		HHV6	1				2	1	2	2	1	1	2	2	14
		HHV7									1			1	2
		Rubella		1					1			1		1	4
		PVB19													0
		コクサッキーA9								2					2
	感染性胃腸炎等	NV(G1)				2		5					4	1	12
		NV(G2)	72	42	21	14	8	3					38	65	263
		SV			2		2	3		1			2	1	11
		ARV	3	5	4	10	2								24
AstV									1					1	
AdV										1(41型)				1	
手足口病	エンテロウイルス属	コクサッキーA9								1				1	
	未同定												1	1	
ヘルパンギーナ														0	
インフルエンザ	AH1													0	
	A(H1N1)2009						1	1				1		3	
	AH3	69	87	10	4	1			1	3	1		16	192	
	B	23	13	20	9									65	
	A(H1N1)2009 オセルタミビル耐性株													0	
流行性角結膜炎	AdV										1(56型)	1	1	3	
無菌性髄膜炎	エンテロウイルス属	エコーウイルス6						1	3		1			5	
	未同定										1			1	
	Mumpus												1	1	
その他	PVB19				1									1	
	RSV						1(A型)							1	
	パラインフルエンザ						1(1型) 2(3型)		3(3型)					6	
	AdV						1(1型)	1(3型)		1(41型)				3	
	エンテロウイルス属	HRV						1	1(A群)						2
		エンテロウイルス71							1						1
		コクサッキーA9									1				1
HHV6											1		1		
細菌	マイコプラズマ感染症									1				1	
	百日咳											1		1	

【ウイルスの略語】

HAV(A型肝炎ウイルス)、 Measles(麻疹ウイルス)、 HHV6(ヒトヘルペスウイルス6型)
 HHV7(ヒトヘルペスウイルス7型)、 Rubella(風しんウイルス)、 PVB19(ヒトパルボウイルスB19型)
 NV(ノロウイルス)、 SV(サポウイルス)、 ARV(A群ロタウイルス)、 AstV(アストロウイルス)、 AdV(アデノウイルス)
 HRV(ライノウイルス)、 AH1(Aソ連型)、 A(H1N1)2009(2009年流行株)、 AH3(A香港型)、 Mumpus(ムンプスウイルス)